

風越公園の再整備 基本設計（たたき台）

1. 風越公園について
2. 市民アンケートの実施
3. 再整備のコンセプト
4. 再整備の設計方針
5. 再整備の基本設計図
6. 再整備のイメージ
7. イメージパース
8. 防災の機能・施設
9. 今後のスケジュール

飯田市 維持管理課

1

1. 風越公園について

■公園の歴史

- ・ 昭和55年：飯田風越高校跡地に県が開設
- ・ 令和5年：市に移管

■公園が置かれている状況

- ・ 創造館が閉館、解体
- ・ 警察署・運転免許センターの建設
- ・ 都市計画の変更（公園面積縮小1.8ha→1.1ha）

⇒公園の各種機能を最適化し、その質を向上させる再整備を実施

風越公園の位置



風越公園の再整備エリア



2

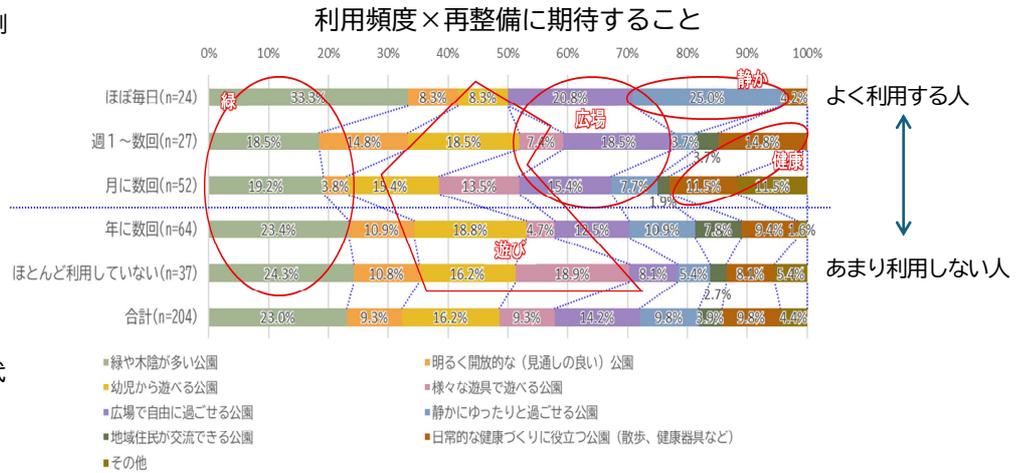
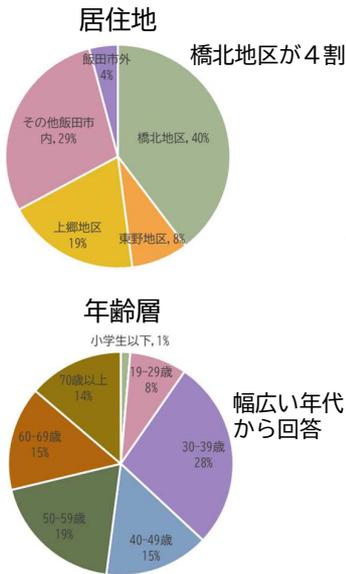
2. 市民アンケートの実施

実施期間：令和7年9月9日～10月10日

実施方法：WEB・紙併用

対象：全市民

回答件数：73件



<再整備に期待すること>

- 全体として、最も多い回答は「緑や木陰が多い」
- 利用頻度が高い層では「広場で自由に過ごせる」「静かにゆったり過ごせる」「健康づくりに役立つ」の回答が多い。
- 利用頻度が低い層では「幼児から遊べる」「様々な遊具で遊べる」など遊びの要素を期待する回答が多い

3. 再整備のコンセプト

当初整備計画（S53）における3つの視点と防災の視点を軸とし、地域の意見・要望を取り入れ、目指す方向性を設定

	検討の軸	まちづくりの課題への対応 地域の意見・要望	目指す方向性
当初整備計画における3つの視点	①レクリエーション・スポーツ 自由時間の増加 余暇活動の場 市民の体力向上・健康増進 歩車分離 歩きやすさへの配慮	子ども利用の機能拡充 散歩利用 バリアフリー化 ユニバーサルデザイン	①-1 幅広い年齢層への対応 幼児から児童まで幅広い遊びに対応 ①-2 見守る側へのサポートの充実 休憩施設や乳幼児利用施設の機能充実 ①-3 日常的な健康づくりの支援 ウォーキング等への対応
	②文化創造の場 芸術・文化の知的向上 社会教育・学校教育の場 住民参加の機会 風越窯跡の保全	環境学習 保育園の利用 イベント利用 地域コミュニティ	②-1 多目的利用への対応 柔軟に使えるオープンスペース ②-2 学習機会の提供（歴史文化・環境） 風越窯跡の保全 学びに繋がる自然材料の導入
	③森の配置 緑地の復元と新たな森の創造 公園的雰囲気との両立 季節感の演出 自家用車の利用抑制	既存樹木の保全・活用 景観保全 脱炭素まちづくり グリーンインフラ	③-1 グリーンインフラの導入 自然が本来持つ多機能性（雨水浸透、暑熱対策） ③-2 既存ストック活用 長年地域を見守る樹木の活用保全
防災の視点	④防災機能 広域避難地	周辺住民の緊急避難の場 平常時における防災意識向上 災害時の公園利用（炊き出し）	④-1 オープンスペースの確保 震災時の避難スペースの確保 ④-2 必要な防災機能の配置 ④-3 日常的な利用促進 地域の意見を踏まえた公園施設整備

4. 再整備の設計方針

再整備に向けた方針（令和7年2月 住民説明会）

公園が本来持つ憩いの場としての機能や防災の拠点としての機能を有した公園として再整備を行うほか、次のとおりとします。

- ア 都市公園の種類は、引き続き「近隣公園」とし、広域避難地（指定緊急避難場所）として現状の機能を維持します（隣接する広域避難地である浜井場小学校グラウンドと指定避難施設（指定避難所）である浜井場小学校体育館との連携）。
- イ 創造館に関する機能として建屋及び付属駐車場に係る部分の面積は減少するものの、それ以外の多目的広場、児童遊戯広場等の各種機能は維持します。
- ウ 誰もが利用しやすい公園とするとともに、特に子育て支援機能の強化を図ります（文化創造機能からユニバーサルデザイン・子育て支援機能へ）。
- エ 緑地等機能の比率を向上させ、まちなかグリーンインフラの推進に寄与します。

令和7年2月にお示した上記の方針に加え、前ページのコンセプトを踏まえ、公園全体の設計方針を設定しました。

■再整備の設計方針

全体リニューアル

- ・警察署建設及び市道拡幅に伴う地盤高の見直しと影響範囲の造成が必要であり、また、公園施設は老朽化が進行、創造館の敷地全体が更地となることから、全体を再整備し、公園縮小の代替として質の向上を図ります。

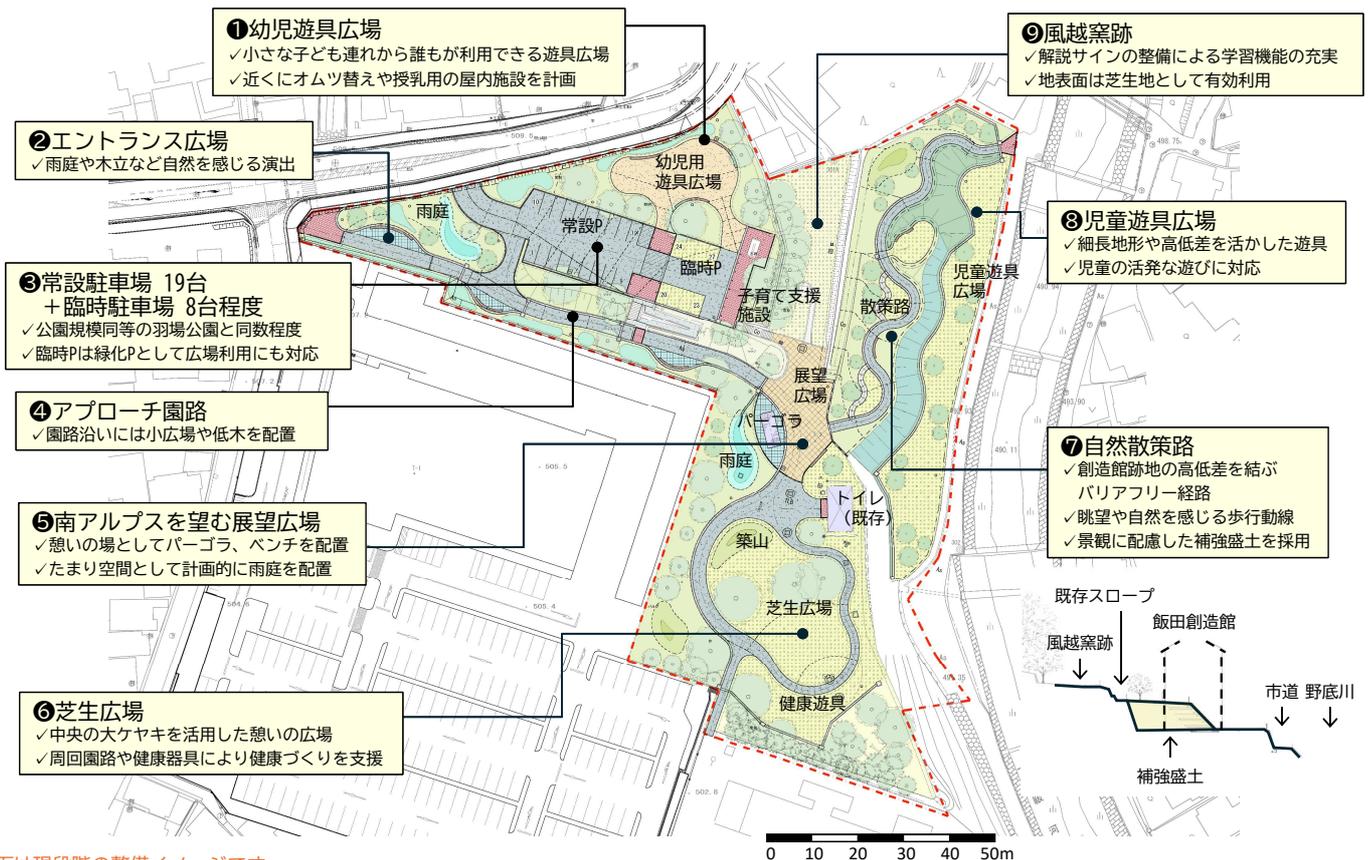
既存の自然環境の保全・適切な管理

- ・大きく生育した樹木が多数あり、地域の思い入れも深いことから、高木については可能な限り保全します。
- ・低木類は肥大化し見通しの障害があることから、明るく安心できる空間形成のため適切な間引きを検討します。

グリーンインフラの導入

- ・雨水浸透技術（雨庭）の導入や緑豊かな景観を形成します。
- ・既存樹木の保全・活用や新たな緑地空間を創出し、自然環境意識の醸成を目指します。

5. 再整備の基本設計図



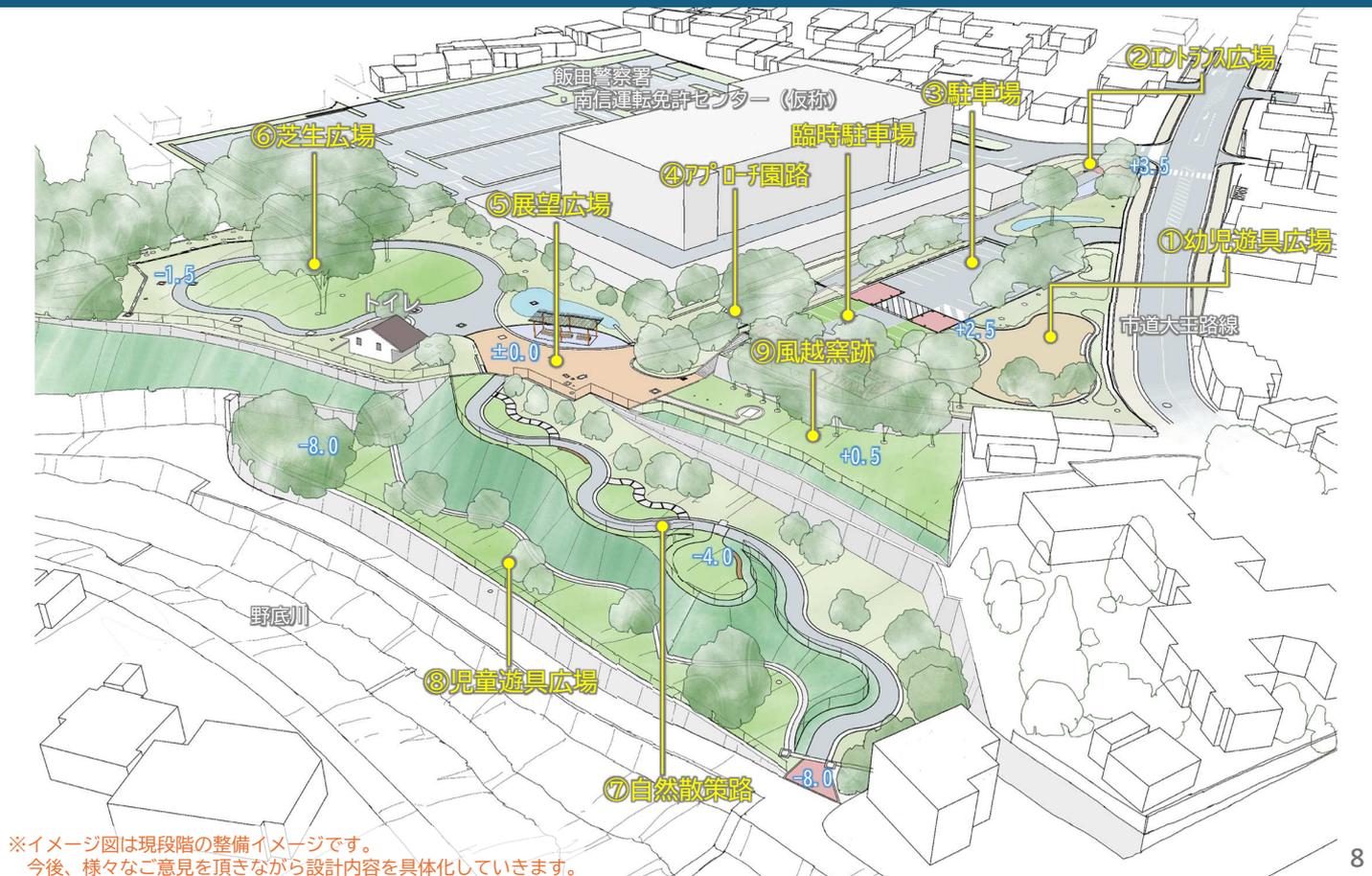
※図面は現段階の整備イメージです。
今後、様々なご意見を頂きながら設計内容を具体化していきます。

6. 再整備のイメージ



※図面・写真は現段階の整備イメージです。今後、様々なご意見を頂きながら設計内容を具体化していきます。

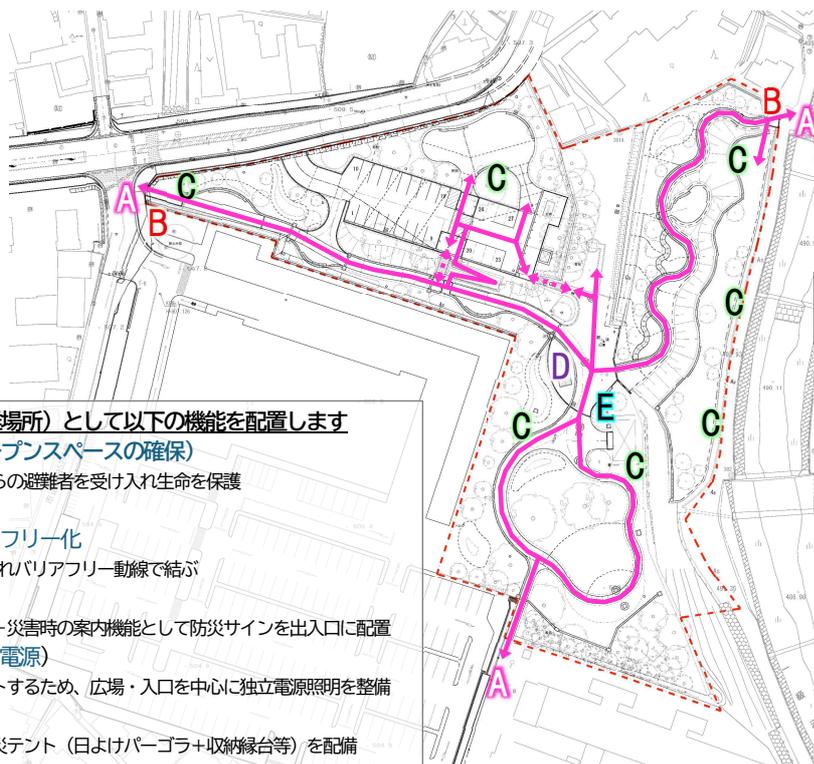
7. イメージパース



※イメージ図は現段階の整備イメージです。今後、様々なご意見を頂きながら設計内容を具体化していきます。

8. 防災の機能・施設

B. 防災サイン



C. 夜間照明（独立電源）



出典：株式会社風景セコロHP

D. 防災テント（日除けパーゴラ）



出典：株式会社コトブキHP

E. かまどベンチ



出典：株式会社コトブキHP

広域避難地（指定緊急避難場所）として以下の機能を配置します

○一時避難への対応（オープンスペースの確保）

・大震災時等に周辺地区からの避難者を受け入れ生命を保護

○防災機能・施設

A. 園内歩行動線のバリアフリー化

：公園出入口か所をそれぞれバリアフリー動線で結ぶ

B. 防災サインの配置

：日常的な防災機能の周知+災害時の案内機能として防災サインを出入口に配置

C. 夜間照明の整備（独立電源）

：夜間の避難活動をサポートするため、広場・入口を中心に独立電源照明を整備

D. 防災テントの配備

：災害時に雨風をしのぐ防災テント（日よけパーゴラ+収納縁台等）を配備

E. かまどベンチの整備

：災害時、平常時の炊き出し活動に資するかまどベンチを適宜配置

凡例

- : バリアフリー動線 (A)
- - - : 階段利用動線

※図面・写真は現段階の整備イメージです。
今後、様々なご意見を頂きながら設計内容を具体化していきます。

9. 今後のスケジュール

	R7年度 2025	R8年度 2026	R9年度 2027	R10年度 2028
公園再整備	基本設計	実施設計 測量・地質調査	工事	
	創造館除却工事			
関連事業		市道大王路線 拡幅工事		
		飯田警察署・運転免許センター整備工事		

風越公園の再整備については、今後、第2回地元意見交換会などを行いながら、設計内容を具体化していきます。